



アイピーセクション

製品関連のご質問事項への回答まとめ

①開発背景

役職の変化やご結婚されてお子様がいらっしゃる方など様々なライフステージが変わっていく30代女性に向け、リアルなヘアケアニーズに応える新ブランドを立ち上げたいと考えました。

仕事や子育てに追われ、自分を労る時間を十分に確保できない一方で美容意識は高く、手軽に丁寧なケアを取り入れたいOL・主婦層をコアターゲットとしています。

10～20代のヘアケアニーズが、カラーやパーマ、日々のスタイリングによるダメージやパサつきの改善を中心としているのに対し、30代は年齢とともに「素の髪そのものをきれいに整えたい」という意識が高まると捉えました。ダメージなど表面的な悩みへの対処にとどまらず、髪や地肌の“土台”から整え、素の状態を美しく保ちたいという、より本質的で長期的な美しさを求める傾向があると考えています。

こうした価値観に応えるヒントとなったのが、**世界で初めてヒトiPS細胞の樹立成功を報告した学術論文を第二著者として山中教授と共同執筆した田邊教授との出会いでした。**

“髪と地肌の土台を整える”という新しいアプローチの可能性を強く感じ、従来の補修型ではなく、「うるおいという土台をつくる」ヘアケアを実現したいという思いが、ブランドの方向性を明確にしました。

そのため、「髪と地肌に化粧水を与えるように、必要な水分を届けて整える」という化粧水発想のヘアケアブランドを企画しました。

悩みを“補修する”のではなく、“うるおいの土台を育てる”ことで美しい髪を目指すという、新しい価値の提案です。

また、年齢を重ねるにつれ、日常にお気に入りのデザインを取り込みたいというニーズも高まると考え、パッケージデザインにもこだわりました。ポンプが目立たない収納式ポンプを採用し、化粧水を思わせるすっきりとした佇まいに仕上げています。生活感を抑え、インテリアとしても置きたくなるデザインで、バスルームに置いた瞬間に気持ちが上を向くような洗練された美しさを目指しました。

機能性と見た目の美しさのどちらも大切にする30代女性の価値観に寄り添うヘアケアブランドとして、化粧水シャンプーを開発しました。

②スキンケア発想のヘアケアブランドである メリットや叶えられることは何か

肌が毎日のスキンケアで整うように、髪と地肌も毎日のケアの積み重ねで、素の状態（すっぴん髪）が整っていくという考え方からiP§（アイピーセクション）は誕生いたしました。

悩みを一時的にケアするのではなく、毎日のケアによってトラブルが生じにくい「素のままでも美しい髪」を目指すという発想です。

スキンケアから着想した4つのステップ

整える→潤す→満たす→守る

上記によって、髪と地肌に必要な“うるおいの循環”を丁寧に育むアプローチを提案します。

スキンケアと同様に、髪と地肌が求める基本は“保湿”。

地肌の環境をすこやかに整えることで、将来生まれてくる髪も、より扱いやすい状態を目指せます。

土台となる地肌をうるおいで満たすことで、これから育つ髪も心地よい質感へ導く土台づくりをサポートします。

うるおいを補い、髪と地肌のコンディションを整えるサポート成分としてiPS細胞培養上清液※も配合しております。

髪のダメージケアや水分バランスを整えることで、パサつき・広がり・うねりなどのトラブルの生じにくい地肌のスキンケアも叶えながらしっかりと素直にまとまる髪を目指します。

※ヒト（線維芽細胞／単核細胞）人工多能性細胞培養順化培養液

③ヘアケアの保湿成分ではなく、 スキンケア成分を配合していることでのメリットは何か。

iP §（アイピーセクション）は化粧水シャンプーとして、iPS細胞培養上清液※のほかに10種類のスキンケア保湿成分を配合しています。
これにより、従来のヘアケアよりもうるおいの質の向上を目指しています。

iPS細胞培養上清液※は、iPS細胞を培養した際の抽出成分で、細胞の活性化や再生を促進するサイトカインやエクソソームをはじめとする、効果があると考えられる200-300種類のタンパク質等が豊富に溶け込んでいます。肌にうるおいを与え、すこやかに保つといった特長をもち、保湿領域において非常に優れた成分です。

iPS細胞培養上清液※のヘアケアへの応用と10種のスキンケア保湿成分の組み合わせにより、以下のようなすっぴん髪の質向上が期待できます。

- ・地肌の乾燥を防ぎ、うるおいの土台をつくる
- ・髪内部の水分バランスが整い、素の状態が扱いやすくなる
- ・パサつき・広がり・うねりなどのトラブルが生じにくい状態を目指せる

そのままの髪（すっぴん髪）の美しさを目指すことができます。

※ヒト（線維芽細胞／単核細胞）人工多能性細胞培養順化培養液

④ 4 ステップの美髪システムについて

本企画における4ステップの美髪システムは、“スキンケア的メリット”を強調したいという意図よりも、お客様にコンセプトを理解していただきやすくするための表現となっております。

ヘアケアにおいても、「整える → 潤す → 満たす → 守る」というステップは、髪や地肌の状態を段階的に整えていく様子を端的に伝えるシステムであり、お客様がケアの全体像をイメージしやすいように、スキンケアのステップに倣って表現しております。

⑤iPS細胞培養上清液の配合理由について

iPS細胞培養上清液※はiPS細胞を培養する過程で発見された成分で、細胞の活性化や再生を促進するサイトカインやエクソソームをはじめとする、効果があると考えられる200-300種類のタンパク質等が豊富に溶け込んでいます。

これらの成分は、頭皮環境を健やかに整え、根本から美しい髪を育てるアプローチを目指しています。美肌・エイジングケア効果に加え、美髪・頭皮ケア効果もあるこの成分は、新しい美髪システムを提案する当該ブランドとの親和性が高いと判断し、配合いたしました。

乾燥によるパサつき・広がりが気になる毛先にも心地よいうるおいを与え、指通りのよいまとまり感のある美しい髪を目指し、自分の髪がより好きになるようなすっぴん髪へ近づけます。

※ヒト（線維芽細胞／単核細胞）人工多能性細胞培養順化培養液

⑥商品の効能としてこういった髪質の人に合っているか

しっとり設計ですが、重くなりすぎない仕上がりのため、乾燥・広がり・ごわつきなど“髪扱いにくさ”を感じる幅広い髪質の方にお使いいただけます。

特に、素の髪をしっとり整えたい30代女性をメインターゲットとしています。

⑦iPSやリポソーム化した成分は全SKUに入っているのか。

全てのアイテムに配合しております。

特にヘアマスクに関してはiPS liquid※（本企画ではその呼び方をさせていただきます）がシリーズ最大量配合、リポソーム化されたスキンケアリペアカプセルは同シリーズトリートメント比で3倍配合しております。

※ヒト（線維芽細胞／単核細胞）人工多能性細胞培養順化培養液

⑧iP § というブランド名の由来

iP §（アイピーセクション）というブランド名には、
「“素の髪を整える”ための新しいケアの区切り（＝セクション）」を提案する、
という意味を込めています。

“iP”には、スキンケアでも使用される
iPS細胞培養上清液※を保湿成分として配合していることを象徴しており、
スキンケアとして注目度の高い成分をヘアケアへ応用することで、髪と地肌を
“肌のように整える”というブランドの核となる考え方を表現しています。

“§（セクション）”とは、
新しい章・区切り・ステップを象徴する記号です。
ライフステージが変化していく女性が、ダメージ補修中心のケアから“素材そのものを丁寧に整えるケア”へ移行していくその新しい章＝新しいケアのセクションを提案する意味を込めました。

“iP §”は、
「肌を整えるように、髪を整える」という化粧水発想と、
「30代からの新しい章（セクション）を迎える女性」
というターゲット価値観を一言で表現したブランド名です。

※ヒト（線維芽細胞／単核細胞）人工多能性細胞培養順化培養液